

文章題のめあてとまとめ 解決の道筋

— 3年「かくれた数はいくつ(1)」(啓林館)について —

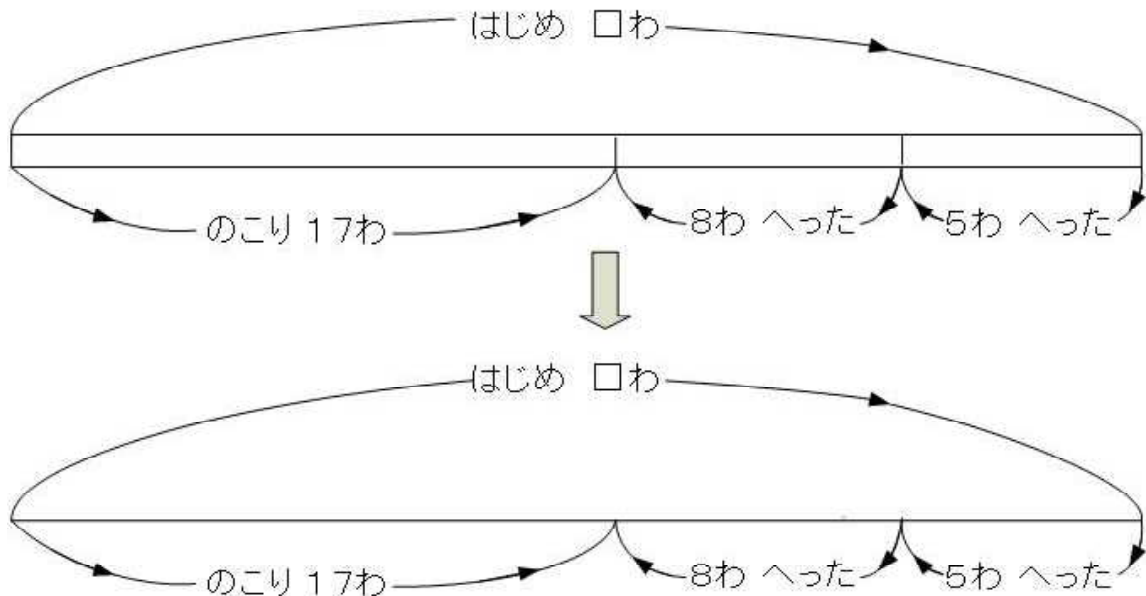
(注：ページ番号は、平成 27 年啓林館のものであります。問題文は著作権の関係で掲載できません。お手数ですが、教科書を参照してください。)

上 p.50 ① $\square - a - b = c$ の問題

2年上 p.61 ①の $\square - a = b$ の問題 と、本時の $\square - a - b = c$ の問題 とを比べることで、次のような一般化されためあてをつかむ。

めあて
はじめの数から 2 回へった時の、はじめの数の もとめ方を考えよう。

図



式 $17 + 8 + 5 = 30$

答え 30わ

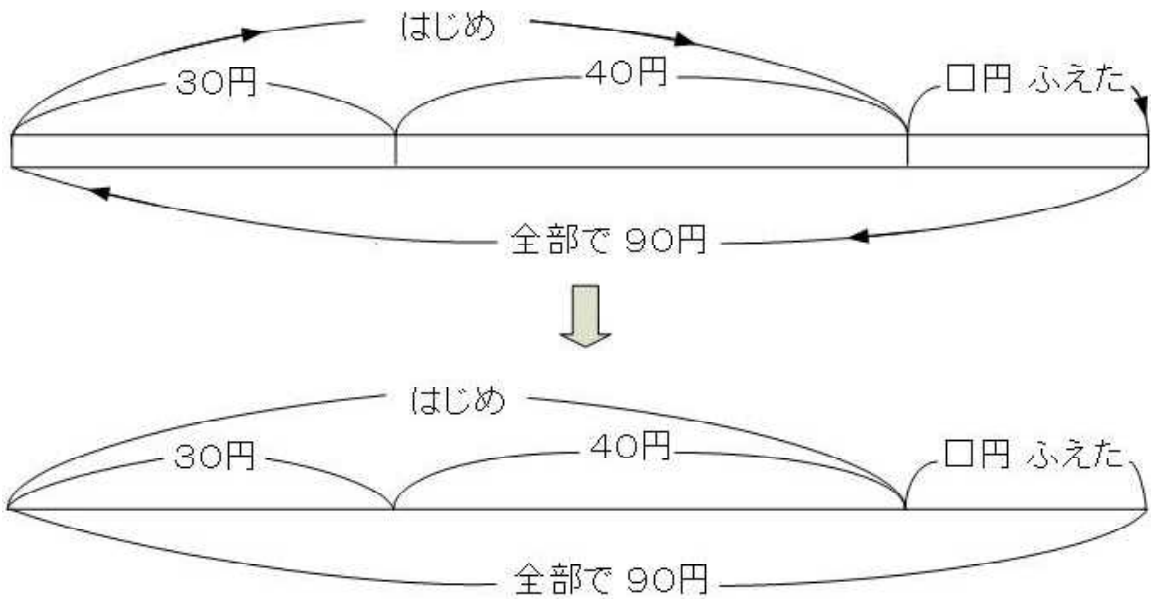
まとめ
はじめの数から 2 回へった時の、はじめの数を もとめるには、のこりの数に、2 回のへった数をたす。

上 p.51 ③ $a + b + \square = c$ の問題

2年上 p.58 ①の $a + \square = b$ の問題 と、本時の $a + b + \square = c$ の問題 とを比べることで、次のような一般化されためあてをつかむ。

めあて
はじめに 2 つの数がある時の、ふえた数の もとめ方を考えよう。

図



式 $90 - (30 + 40) = 20$
 $90 - 30 - 40 = 20$

答え 20円
 答え 20円

まとめ

はじめに 2つの数がある時の、ふえた数をもとめるには、全部の数からはじめにあった2つの数をひく。

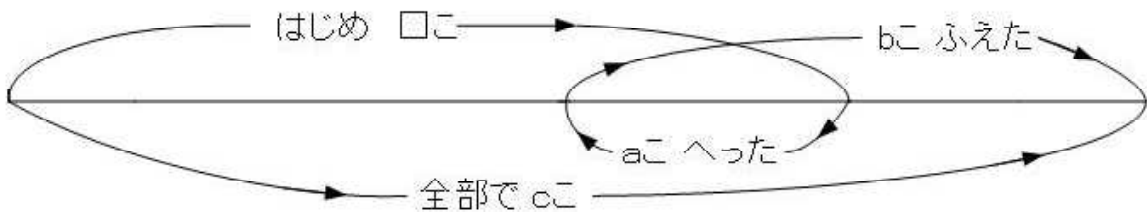
上p. 50で作られていない問題

- - a + b = c の問題 (上 p.50 の □ - a - b = c の問題 参照)

めあて

はじめの数から へったりふえたりした時の、はじめの数のもとめ方を考えよう。

図



式 $c + a - b$

答え $c + a - b$ こ

まとめ

はじめの数から へったりふえたりした時の、はじめの数をもとめるには、ぜんぶの数から ふえた数をひき、へった数をたす。

• $\square + a - b = c$ の問題 (上 p.50 の他の問題参照)

• $\square + a + b = c$ の問題 (上 p.50 の他の問題参照)

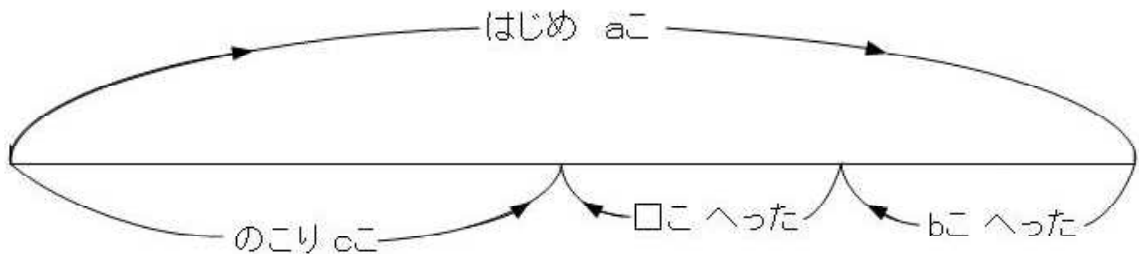
上p. 51で作られていない問題

• $a - b - \square = c$ の問題 (上p. 51の $a + b + \square = c$ の問題 参照)

めあて

2回目にへった数の もとめ方を考えよう。

図



式 $a - b - c$

答え $a - b - c$ こ

まとめ

2回目にへった数を もとめるには、はじめの数から
1回目にへった数と のこりの数をひく。

• $a + b - \square = c$ の問題 (上 p.51 の他の問題参照)

• $a - b + \square = c$ の問題 (上 p.51 の他の問題参照)